

等々力緑地再編整備の方向性

1. 等々力緑地再編整備の基本的な考え方

再編整備で重視すべき視点

前提条件を踏まえ、再編整備にあたり重視すべき視点として、継承すべき役割と新たに考慮すべき方向性を以下に示す。

継承すべき役割(現計画における整備に向けた5つの方向性)

①魅力を高め人の輪が広がる等々力緑地

- ・ スポーツや文化・芸術などを通じた川崎市の魅力を高める市民の交流拠点づくり

②まちづくりとともに歩む等々力緑地

- ・ 多摩川等の自然環境や小杉地区のまちづくりと連携し、地域の魅力を高める緑の拠点づくり

③いつでも誰でも楽しめる等々力緑地

- ・ 市民が憩い・楽しみ、健康増進に寄与する緑地づくり

④頼りになる安全・安心な等々力緑地

- ・ イベント時や災害時でも安全・安心な緑地づくり

⑤みんなで支える等々力緑地

- ・ 多様な参画・協働による経営的視点に立った緑地づくり

新たに考慮すべき方向性

①誰もが利用しやすく使いやすく

- ・ 誰もが社会的インフラ、サービスにスムーズにアクセスし利用可能であることが求められている。
- ・ 誰もが分け隔てなく公園で憩い、集い・交流し・楽しめることが求められている。

②グリーンインフラ

- ・ 雨水の貯留浸透、水質改善、地下水涵養、ヒートアイランド現象の緩和、延焼防止等の多機能を発揮させ、都市の持続可能性を高める取組が求められている。
- ・ 市街地におけるみどりの拠点として、生物多様性の保全や自然環境の創出をすることが求められている。
- ・ 環境教育の場の提供、コミュニティの形成、景観の向上など地域の魅力向上が求められている。

③人が集うコンテンツ

- ・ 日常的な公園の魅力づくりとして、飲食を楽しめる施設、季節や天候を問わず楽しめる施設、親子で楽しめる施設、公園利用を楽しむためのグッズやスポーツ用品等を販売する施設の導入が求められている。
- ・ 幅広い世代が楽しめる体験プログラム等の導入が求められている。

④時代の変化への対応

- ・ 社会環境の変化・価値観の多様化が進むなか、公園における人々の過ごし方、公園に導入が期待される機能も多様化しており、それらの変化への対応が求められている。
- ・ 働き方やライフスタイルの変化に伴い、生涯学習の場としての活用、ICT技術の導入や活用など時代の要請に合わせた機能・施設の導入が求められている。
- ・ 激甚化する自然災害や世界的な感染症の流行などを踏まえた緑地の役割を果たすことが求められている。

⑤スタジアム・アリーナ改革

- ・ スポーツの可能性を最大限引き出し、地域のシンボルとすることや地域経済の活性化につなげるなどが求められている。
- ・ 複数のプロスポーツチームが本拠地としている等々力緑地において、スポーツによるまちづくりを推進することで、市の存在感を高めることが求められている。

⑥民との連携によるパークマネジメント

- ・ 民間のアイデア、ノウハウと資金を活用し、利用者へのサービス向上と公園の継続的な魅力づくりを行っていくことが求められている。
- ・ 公園の管理・運営に携わる市民、行政のみならず、地域社会やスポーツ産業等、まちの発展に関わる主体と協働して公園の魅力を高めていくことが求められている。

将来像（基本的な考え方）

再編整備で重視すべき視点を踏まえ、等々力緑地が目指す将来像を示す。

将来像（基本的な考え方）

継承すべき役割

①魅力を高め人の輪が広がる等々力緑地

②まちづくりとともに歩む等々力緑地

③いつでも誰でも楽しめる等々力緑地

④頼りになる安全・安心な等々力緑地

⑤みんなで支える等々力緑地

誰もが心地よく過ごせる等々力緑地

- 誰もが緑の中で癒され、リラックスしながら自由な時間が過ごせるような広場や散策が楽しめる樹林地、水と緑の風景を眺めながら静かにゆったりと寛げる空間など、公園本来の目的である憩いの場の提供を行います。
- 誰もが分け隔てなく等々力緑地へアクセスでき、公園内の施設を利用できるよう整備を行います。

みどりを繋ぎ、活かす等々力緑地

- 地域のみどりの拠点として多摩川や神社、仏閣、民有地のみどりとの連続性を確保するとともに、生物多様性の保全や自然環境の創出を行います。
- 雨水の貯留浸透、水質改善、地下水涵養、ヒートアイランド現象の緩和、延焼防止などみどりが有する多機能性を最大限発揮します。

誰もが成長できる等々力緑地

- 趣味、体験、交流、学び、自己表現、市民活動といった多様なニーズに応える施設や機能を導入し、誰もが成長できる場の創出を行います。
- 地域の企業や大学と連携し、最先端の研究、開発、社会実験やアクティビティ、商品やサービスを利用者が体感する機会を提供するなど、日常的に刺激を受けられる公園づくりを目指します。

安全・安心を支える等々力緑地

- 地震、火災、台風、大雨などあらゆる自然災害や感染症などとの複合災害を想定し、市民の安全・安心につながる公園を目指します。
- 等々力緑地において防災訓練等を地域と連携して行うことで、地域コミュニティの形成や防災意識の向上を目指します。

スポーツがひと・まちを元気にする等々力緑地

- 子どもからシニアまで幅広い層の健康増進やプロに触れることによる技術向上等が実現できる場づくりを行います。
- プロスポーツを身近に感じ、感動できる観戦環境を提供するとともに、プロスポーツチームと連携した地域の賑わい創出など、スポーツによる地域活性化を推進し、持続可能な公園運営を行います。

ひとが繋がり、まちと繋がる等々力緑地

- 民間事業者との連携によるパークマネジメントの推進や公園内施設の一体管理等により、利用者へのサービス向上や継続的な魅力づくりなど持続可能な運営を行います。
- 地元町会、活動団体、地域の企業、教育機関、商店街、観光協会等の多様な主体が緑地の運営に関わる仕組みをつくることにより、みどりを活かしたまちづくりの取組を進めます。
- 多摩川と一体となる等々力緑地は、地域の歴史的・文化資源であり環境資源となっていることから、資源の魅力を守り・育て、その中で様々な利用や体験の機会を提供することにより、市の顔となる公園をつくり、郷土愛の醸成等につなげます。

新たに考慮すべき方向性

①誰もが利用しやすく使いやすく

②グリーンインフラ

③人が集うコンテンツ

④時代の変化への対応

⑤スタジアム・アリーナ改革

⑥民との連携によるパークマネジメント

将来像（等々力緑地が提供する価値）

将来像の実現によって等々力緑地が個人や社会、環境に対し提供する価値を示す。

将来像（基本的な考え方）

誰もが心地よく過ごせる等々力緑地

みどりを繋ぎ、活かす等々力緑地

誰もが成長できる等々力緑地

安全・安心を支える等々力緑地

スポーツがひと・まちを元気にする等々力緑地

ひとが繋がり、まちと繋がる等々力緑地

社会に対し

トップスポーツが醸成し川崎ブランドを牽引する！



スポーツ産業の拡充

人との交流や参画によって社会に貢献できる！

快適、安全な住みたいまちに選ばれる！



みどり豊かな都市環境

移動や交流により地域経済が活性化する！



興奮と感動のイベント

社会活動が活発になりまちが元気になる！



まちとつながる活動

災害や危機事象への備えを強化する！



救援支援の拠点

持続可能な社会づくり、地球環境保全に貢献する！



低炭素社会への貢献

環境に対し

生き物の生息環境が守られ多様な豊かな環境が維持できる！



生物多様性の取組

ヒートアイランド現象が緩和され地球環境への負荷低減に寄与する！



グレーからグリーンフラへの転換

等々力緑地が提供する価値

個人に対し

心身共に健康的になれる！ 多様な人々の活躍



リフレッシュ&ハピネスな時間

体験によって感動が得られ自ら成長できる！



新たな体験と創造

新たなスポーツへのチャレンジ

アイデンティティが表現でき自分らしくいられる！



セカンドライフの充実

人々が憩える環境が守られ豊かな時間が過ごせる！



豊かなパークライフ

地域の緑と水の風景が守られ、川崎の景観を次世代に継承する！



ランドスケープの継承



パフォーマンスの表現